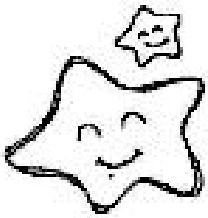
QSK(にぬふぁぶし) 1997 年 9 月 18 日 第三種郵便物承認　通巻 7835 号 2022 年 7 月 23 日 発行　(1)
(毎月 1.2.3.4.5.6.7 がつく日)

QSK にぬふぁぶし

No.305

子(ね)の方向の星(北極星)



世にも"異色"なる多目的小屋、建設中(南風原てるしの)

コロナ禍では、ソーシャルディスタンスの物理的な確保も課題のひとつです。

就労支援施設『てるしのワークセンター』では、利用者さんたちの活動スペースを広げるため、敷地内の温室のなかに、多目的用途の「小屋」を建設中です。

他に適当な場所もなかったので、たまたまそこにあったガラス張りの熱い温室のなかに建物を造ろうというこのアイデア、もちろん前例を聞いたこともなく、自分たちで思いついたこととはいえ、「大丈夫なのかな？」というのが最初の、当然すぎる本音でした。沖縄の照り付ける夏の日差しをイメージするとくらくらしてきます。(サウナになりはしないか？)

ところが、そうした心配も含めて諸々の事情を設計施工会社に相談してみると、拍子(ひょうし)抜(ぬ)けするくらい「いけそう」な感触を得ることができたのでした(宇宙で使う断熱素材を活用します)。そのうえコンセプトとしての素敵なプラスアルファももらうことができました。

空気の美味しい家です。漆喰と、南九州産の特別の木材を使い、シックハウスのような不安がなく、ひんやりした木の肌触りが心を癒す家。

5 月 11 日には上棟式も終え、現在も着々と作業が進んでいます。お楽しみに。

完成したあかつきにはレンタルスペースとしての活用も予定していますので、近くにお立ち寄りの際にはどうぞ覗いていってみてくださいね。

「紫微鸞駕(しびらんか)」は、北極星を神格化した北極紫微大帝(ほっきょくしびたいてい)に家を守ってもらうための願いを込めた言葉だそう。防火の護符とされ、棟梁が上棟式の当日に書きます。「天官賜福(てんかんしふく) 紫微鸞駕」と書く地域もあります。